

2023 年 9 月 13 日

キャリア支援センター運営委員会

2023 年度 愛知東邦大学卒業生調査 集計結果

調査概要

(1) 調査目的

「在学中の学びや経験が卒業後にどのように活かされているのか」、「在学中に学んでおきたかったこと」について調査し、教育活動等の改善につなげることを目的とする。

(2) 調査方法

Google Forms による回答（2023 年 8 月 7 日（月）～8 月 31 日（木））

(3) 調査対象

599 名（2020 年度および 2021 年度卒業生）

(4) 回答者数

61 名（回答率 10.2%）

(5) 調査項目

- 問 1 卒業年度をお知らせください
- 問 2 所属していた学部 学科をお知らせください。
- 問 3 初職の就業形態または卒業後の状況をお知らせください。
- 問 4 現在の就業状況をお知らせください。
- 問 5 愛知東邦大学の教育に満足でしたか。
- 問 6 学生時代に身につけた能力は何ですか。
- 問 7 大学で学んだことが社会で役立っていますか。
- 問 8 学生時代に身に付けておく社会で評価されていると感じた能力は何ですか。
- 問 9 学生時代に取り組んでおけば良かったと思うことがあれば教えてください。
- 問 10 卒業後有効だと感じた大学時代の経験は何ですか。
- 問 11 愛知東邦大学の就職活動への支援について。
- 問 12 就職活動に役立った大学の取組は何ですか。
- 問 13 「原石は宝石」という大学のクレドのもと学生時代を過ごせたと感じたか。
- 問 14 「多様な視点と可能性を共に見つける」として教職員と関われたと感じたか。
- 問 15 在学中に「成長実感の提供」を感じたか。

問1 卒業年度をお知らせください。

問2 所属していた学部 学科をお知らせください。

選択肢		人数	割合	合計
2020年度	経営学部 地域ビジネス学科	7	29.2%	24
	経営学部 国際ビジネス学科	1	4.2%	
	人間健康学部 人間健康学科	7	29.2%	
	教育学部 子ども発達学科	9	37.5%	
2021年度	経営学部 地域ビジネス学科	10	27.0%	37
	経営学部 国際ビジネス学科	1	2.7%	
	人間健康学部 人間健康学科	12	32.4%	
	教育学部 子ども発達学科	14	37.8%	
合 計		61		

問3 初職の就業形態または卒業後の状況をお知らせください。

選択肢	人数	割合
無期雇用（正社員）	50	82.0%
有期雇用（フルタイム）	3	4.9%
有期雇用（短時間勤務）	0	0.0%
自営	0	0.0%
進学	4	6.6%
アルバイト（パート）	3	4.9%
仕事に就けなかった	1	1.6%

問4 現在の就業状況をお知らせください。

選択肢	人数	割合
転職をしたことがない	41	67.2%
転職を1回したことがある	13	21.3%
転職を2回以上したことがある	2	3.3%
仕事に就いたことがない	5	8.2%

問5 愛知東邦大学の教育内容に満足でしたか。

選択肢	人数	割合
満足	21	34.4%
どちらかといえば満足	19	31.1%
一概にいけない	20	32.8%
どちらかといえば不満足	1	1.6%
不満足	0	0.0%

問6 学生時代に身に着けた能力は何ですか。（複数回答）

選択肢	人数	割合
コミュニケーション力	32	52.5%
専門知識	30	49.2%
基礎学力（教養）	28	45.9%
表現力	24	39.3%
行動力	23	37.7%
他者と協働する力	23	37.7%
決断力	14	23.0%
課題探求力	11	18.0%
問題解決力	11	18.0%
創造力	10	16.4%
発信力	9	14.8%
分析力	8	13.1%
その他：お酒の飲み方、人とのかかわり方	1	-

問7 大学で学んだことが社会で役立っていますか。

選択肢	人数	割合
非常に役立っている	12	19.7%
役立っている	28	45.9%
一概にいけない	14	23.0%
あまり役立っていない	4	6.6%
役立っていない	3	4.9%

問8 学生時代に身に着けておくと社会で評価されていると感じた能力は何ですか。（複数回答）

選択肢	人数	割合
コミュニケーション力	47	77.0%
行動力	36	59.0%
他者と協働する力	32	52.5%
表現力	26	42.6%
基礎学力（教養）	23	37.7%
問題解決力	22	36.1%
課題探求力	20	32.8%
決断力	20	32.8%
専門知識	19	31.1%
発信力	19	31.1%
創造力	18	29.5%
分析力	14	23.0%
その他：現状把握力	1	-
その他：大学院へ進学のためまだ社会でどのように評価されたかなどはありません。	1	-

問9 学生時代に取り組んでおけば良かったと思うことがあれば教えてください。（自由記述）

もう少し勉強を頑張っていればと思う。

若干の英語力と正しい敬語

英語の勉強

外国語の勉強

実践的な部分を時間がある大学時代にもっと積極的に挑戦したり、身に付けたりしたかった。

色んな人と関わる。色んな場所へ行く。ある程度勉強をしておかないと、社会人になってから勉強する時に頭使って無さすぎて全然覚えられない。

素直になること。過去に囚われないこと。

資格を取得しておけば良かった。取れる資格を全て取れば良かった。（7）

ファイナンシャルプランナー、簿記、ビジネス系資格（2）

「給与計算実務能力検定」：自分の給与が正しく払われなかった経験から、就職先の条件を怪しいところがな
いか就活の時に選定する能力があればよかったと思いました。

自分の道に合った資格を取得していたが、気になる資格も取得しておくことで道が広がると感じた。

他業種の就職活動

教職に取り組んでも良かったと思った。キャリア選択の幅を広められた。

教員採用試験に向けた勉強（2）

中学体育の免許が欲しかった。

小学校教員免許

保育士の資格

様々な学校での授業参観

こどもと関わる仕事について、こども目線での表現力、保護者とのコミュニケーション力をつけたかった。

大学の時点で教員になるということをきめていたため、自ら企画して子どもたちと関わる機会を作っておきたかったです。

研究方法や研究計画の立て方を学ぶこと。

卒業研究をもう少し力を入れ、批判的思考力を身につけておけばよかった。

このような力は、物事の「当たり前」について問い直すことができるようになるので、研究の道に進むためだけでなく、就職後でも必要な社会人基礎力であると考えられる。在学時、とくに最終年度においては、採用試験や大学院入試を意識した、いわゆる就職・進学準備にばかり力点を置いてしまい、「教師・保育士になる、大学院に合格するのがゴール。なってからはテキトーに働き、テキトーに結婚し、テキトーに出産する」という意識になってしまった。その結果、人生のキャリア全体を見据えた視点をもつことができず、あくまで出口（卒業時の姿）に力点を置いてしまった。

ボランティア活動

海外留学（2）

留学に行きたかった。もっと外の世界を知る必要がある。学生時代から、社会人として扱われていた方が、心が折れにくくなる。

問10 卒業後有効だと感じた大学時代の経験は何ですか。（複数回答）

選択肢	人数	割合
アルバイト	31	50.8%
専門科目の講義（学部ごとの専門知識が身についた）	28	45.9%
ゼミ活動（ゼミでの交流）	20	32.8%
全学共通科目の講義（教養が身についた）	16	26.2%
ボランティア活動	12	19.7%
部活動	10	16.4%
東邦STEP	10	16.4%
サークル活動	8	13.1%
インターンシップ	6	9.8%
大学祭の活動	4	6.6%
地域貢献活動	3	4.9%
海外留学	3	4.9%
プロジェクト型授業（東邦プロジェクト、専門プロジェクト）	2	3.3%
実習	1	-
成熟した大人を敵に回すと色々大変ということ	1	-
筋トレ	1	-
パソコンの授業でタイピングを教わった	1	-
浅くてもいいから、年齢性別関係なく色々な人とコミュニケーションを取ろうとする気持ち	1	-
なし	1	-

問11 愛知東邦大学の就職活動への支援について。

選択肢	人数	割合
十分だった	21	34.4%
やや十分だった	16	26.2%
一概にいけない	10	16.4%
やや不十分であった	7	11.5%
不十分	7	11.5%

問12 就職活動に役立った大学の取組は何ですか。（複数回答）

選択肢	人数	割合
ゼミ担当教員の支援	23	37.7%
キャリア相談（就職担当職員による個別相談）	17	27.9%
履歴書、エントリーシートの添削（就職担当職員による個別対応）	17	27.9%
就職ガイダンス（学内講師）	11	18.0%
インターンシップ	10	16.4%
就職講座	5	8.2%
就職ガイダンス（学内講師/業者が学内で行う企画）	4	6.6%
学内企業展	2	3.3%
部活動の監督、コーチの支援	2	3.3%
マイナビ、スポナビ等でzoomを利用し、企業探し、履歴書や面接練習をしていただいた	1	-
研修生制度	1	-
河合さん・久保さんの支援と松井さんの応援	1	-
スポナビ	1	-
就活をしていないので該当するものがない	1	-
ない	1	-

問13 在学中に「原石は宝石」という愛知東邦大学のクレド^[1]のもと学生時代を過ごせたと感じましたか。

選択肢	人数	割合
全体として感じていた	15	24.6%
一部は感じていた	18	29.5%
一概にいけない	12	19.7%
あまり感じられなかった	6	9.8%
感じなかった	10	16.4%

問14 在学中に愛知東邦大学のクレド「多様な視点と可能性を共に見つける」として教職員と関われたと感じましたか。

選択肢	人数	割合
全体として感じていた	13	21.3%
一部は感じていた	28	45.9%
一概にいけない	10	16.4%
あまり感じられなかった	4	6.6%
感じなかった	6	9.8%

問15 在学中に愛知東邦大学のクレド「成長実感の提供」を感じましたか。

選択肢	人数	割合
全体として感じていた	21	34.4%
一部は感じていた	16	26.2%
一概にいけない	13	21.3%
あまり感じられなかった	6	9.8%
感じなかった	5	8.2%

^[1] クレドとは「企業や団体が活動の拠り所とする価値観・行動規範を簡潔に表した言葉」のことである。

企業アンケート

アンケート実施日：2022年2月20日（月）

協力企業数：45社

Q：貴社の最終選考において、重要視している点を可能であれば教えてください

重要視している項目を3点まで選択ください。

A：回答

項目	回答数
主体性	20
協調性	16
コミュニケーション能力	39
向上心	13
リーダーシップ	4
フォロワーシップ	1
継続力	5
行動力	11
語学力	0
学び続ける力	4
自社との相性	14
業界理解	2
専門知識	0
これまでの経験	1
伸びしろ	2
表情（身だしなみ含む）	12
その他：ホスピタリティカ	1



項目	回答数
コミュニケーション能力	39
主体性	20
協調性	16
自社との相性	14
向上心	13
表情（身だしなみ含む）	12
行動力	11
継続力	5
リーダーシップ	4
学び続ける力	4
業界理解	2
伸びしろ	2
フォロワーシップ	1
これまでの経験	1
その他：ホスピタリティカ	1
語学力	0
専門知識	0